

弘前市立図書館で化石のはなし

木村 由莉

こんにちは、国立科学博物館で古生物の研究をしている木村由莉です。先日、弘前市立図書館で「恐竜と古生物のふしぎ探検」というテーマでお話をする機会をいただきました。夏休み初日にもかかわらず多くの子どもたちや保護者の方々が集まってくれました。化石を通じた太古の世界の旅はいかがでしたか。

1時間という、学校の授業より少し長い時間で、専門的な内容に踏み込んでお話をしましたが、低学年の子どもたちが最後まで集中して耳を傾けてくれた姿がとても印象的でした。科博で実施するディスプレイバリエーションと同じ難易度で、専門用語も使いましたが、大人ながらの真剣な表情で聞いてくれました。小学校高学年から中学生は熱心にメモを取っていたのが印象的で、「あとでもっと調べてみよう」と思う

気持ちを引き出すことができていたらうれしいです。研究者として伝えたことが、次の世代の学びの種になるかもしれないと感じ、胸が熱くなりました。

また、保護者の皆さんからたくさん質問があがったことも嬉しい驚きでした。恐竜や古生物は子どもだけでなく大人にとっても魅力的なテーマであり、世代を超えて好奇心を刺激する力を持っているのだと改めて実感しました。研究現場の空気を少しでも伝えられたのではないかと思います。

さらにサプライズだったのは国立科学博物館の大ファンである親子に出会うことができたことです。恐竜や古生物が好きだという気持ち、図書館から博物館へ、そしてまた学びの場へと広がっているのを知り、知の冒険が確かに起きていることを感じました。化石や動物への興味が子どもたちを大きな旅に連れ出し、その旅が未来の研究につながっていくのかもしれない。

講演のあと、図書館の方から「子どもたちがとても楽しそうに話していた」と聞きました。講義は少し難しかったようです。ふふふ。それはたぶん大人目線。難しい話の中に興味を見出すことができたなら、全部わからなくてもいいのです。私が伝えたこと以上に、一緒に考えた時間そのものが心に残ったと思います。一緒に「ふしぎ」を感じることが学びの出発点です。これからも恐竜や古生物の研究は進みます。新しい化石の発見や最新の研究手法によって、これまで知られていなかった事実が次々に



明らかにになっていくでしょう。だからこそ「なぜだろう?」と疑問を持つことは大切です。図書館はその疑問を育てる場所であり、本との出会いを通じて新しい世界をひらいてくれる場所でもあります。

弘前で出会った皆さんが、これからも本を手に取り、興味のある世界を探索し続けてくれることを願っています。そして、いつかどこかで「あのときの図書館でのお話がきっかけでした」と声をかけてくれる「かつての子ども」に出会えたら最高です。これからも学びと出会いを大切にしながら、皆さんと再びお会いできる日を楽しみにしています。

(国立科学博物館
生命進化史研究グループ研究主幹)



イベント実施報告 8月～11月

〔弘前図書館〕8月30日

弘前図書館市民講座

青森県発!!プロテオグリカンの開発、販売ストーリー

今年は角弘プロテオグリカン研究所所長の米塚正人さんを講師にお迎えし、「プロテオグリカンは、こうして青森で育った」をテーマに、青森県発の機能性成分プロテオグリカンの開発秘話や実用化に向けた数々の挑戦の軌跡を語っていただきました。



市民講座の様子

講座では、かつては高価で抽出が難しかったプロテオグリカンを、弘前大学の高垣教授が青森県の郷土料理「氷頭（ひず）なます」からヒントを得て、低コストで高純度のプロテオグリカンの量産化に成功したことや、プロテオグリカンが実は存続の危機にあったことなどをお話しいただきました。当事者でしか知り得ない貴重なお話に、参加者の方たちのプロテオグリカンに対する認知度がさらに高まったようです。

〔弘前図書館〕10月11日

小学生に贈るおはなし

ワクワク、ドキドキ！不思議なおはなし大集合

8回目の開催となった今回は、「不思議なおはなし」をテーマに、クイズを含む計8つの演目

を行いました。当日は、小学生とその保護者など31名の方が参加してくださいました。笛や太鼓でBGMをつけた絵本の読み聞かせ、覚えた物語を軽快なリズムでお話するストーリーテリング、不思議な仕掛け付きの紙芝居、思わず声を出して笑ってしまう津軽の昔コなど、参加者はおはなしごとにドキドキしながら、おはなしに引き込まれている様子が見えられました。親子で一緒に楽しめる食育ゲームでは会場が一体となり、子どもたちの笑いが聞こえる、とても楽しいおはなし会となりました。



絵本当てゲームを楽しむ子どもたち

〔弘前図書館〕10月12日

移動図書館車「はとぶえ号」1日開放

「はとぶえ号」の中を見てみよう

移動図書館車はとぶえ号を市民の方々にもっと知ってもらおうと、弘前図書館正面玄関前に駐車して開放を行いました。雨がぱらつく中、大人と子どもも合わせて30名の方が来館されました。今回はいつものクイズではなく、本の情報が書かれた



はとぶえ号車内の様子



レシートを使って車内の本を探してもらいました。初めて車内を見た方は、載っている本の多さに驚いているようでした。本を探した方、車内の見学をされた方には、リーディングトラックやしおりをプレゼントしました。移動図書館車は市内24ヶ所のステーションを巡回しています。今回のイベントをきっかけに、今後多くの方に移動図書館車を利用していただけたらと思います。

〔弘前図書館〕10月25日

雑誌の無料配布

お目当ての雑誌は見つかりましたか？

毎年10月最終土曜日に実施している「雑誌の無料配布」を今年も開催いたしました。今年は昨年を上回る約160名の方にご参加いただきました。計91タイトル、約1200冊の雑誌を提供しました。料理やハンドメイド、ファッションなど例年人気のある雑誌は、今年も開始から30分程でなくなってしまう人気ぶりでした。さらに雑誌のふろくも大人気で、開始してすぐに無くなってしまふほどでした。わずかに残った雑誌はロビーにて配布を行いました。皆さまご参



お目当ての雑誌を探す様子



加いただき、ありがとうございます。来年の開催もお楽しみに！

〈弘前図書館〉11月1日

バリアフリー映画会

「九十歳。何がめでたい」を上映

弘前図書館にて、バリアフリー映画会を開催しました。バリアフリー映画は、音声ガイドによる説明と日本語字幕があることで、ハンディキャップを持つ方も鑑賞することが出来る映画です。今回は、佐藤愛子のベストセラーエッセイが原作の「九十歳。何がめでたい」を上映しました。ベテラン作家の佐藤愛子と担当編集者が軽快なやりとりを繰り広げる、ユーモアたっぷりのコメディ映画です。会場内はたくさんさんの笑い声に包まれていました。映画のなかに出てきた一節は、弘前市立図書館所蔵の本にも載っています。映画にプラスして、ぜひ本でも愛子さん独特のおかしみを味わってみませんか？



映画会の様子

〈弘前図書館〉11月9日

おはなしと読み聞かせ講習会

おはなしの楽しさを伝えよう

第42回を迎えた「おはなしと読み聞かせ講習会」は、今年もP I C読書アドバイザーの高嶋敬子氏を講師にお迎えして開催しました。絵



紙芝居の説明をする高嶋氏

本の読み聞かせに関する基本的な説明と実演のほか、今回は紙芝居とパネルシアターの技法も加え、盛りだくさんの内容となりました。3時間半の講習会となりましたが、受講した皆さんは最後まで講師のお話に集中し、意欲的に学んでいました。受講者一人一人に絵本と紙芝居を読んでもらう実演の時間では、その場で講師からアドバイスももらうなどし、とても充実した時間となったようです。受講された皆さんの今後のご活躍が楽しみです。

〈弘前図書館〉10月17日～11月19日

秋の読書週間(弘前)

お気に入りの絵本、見つかったかな？

秋の読書週間として、今年も絵本の情報サイト「絵本ナビ」の会員が選んだ本读到読んでほしい絵本を紹介する「いくつかのえほん」のうち、100冊程度を0歳～6歳の年齢別に展示を行いました。長く愛され続けているロングセラー絵本や今話題の絵本など、どれを選んでも間違いない絵本ばかりです。ご家庭での読み聞かせやプレゼントなど、どんな絵本を選んだらいいのか迷われている方の参考になれば嬉しいです。



「いくつかのえほん」展示の様子

〈岩木図書館〉10月18日～11月16日

秋の読書週間(岩木)

秋のくだもの収穫祭！たくさん収穫できました！



たくさん収穫できました！

子どもたちに、好きな本のタイトルを秋の果物カードに書いてもらいました。りんご、ぶどう、柿など10種類ほどあるカードを見ながら「かわいい！」「どれにしようかな」と楽しみながら選んでいる姿がとても微笑ましかったです。絵本や怖いお話、歴史、おしゃれについての本など、たくさんのお本を紹介していただき、今年も大豊作でした！

〈こども絵本の森〉10月1日～11月9日

秋の読書週間(絵本の森)

芸術の秋を楽しもう！

今年のテーマは「おととアートとえほんの森」。好きな本について記入してもらった音符カードを、大きな五線譜のパネルに貼ってもらい、オリジナルの楽譜が完成！皆さんが紹介してくれた本は展示・貸出も行いました。手作り楽器コーナーでは、太鼓やギターなどを鳴らして楽しむ子どもたちの姿が見られ、名画『モナ・リザ』『叫び』『牛乳を注ぐ女』の顔はめパネルの撮影コーナーも大人気でした。



名画の顔はめパネルコーナー



図書館システムの入れ替えにより



ココが変わりました!



セルフ貸出機を導入しました!

弘前図書館・岩木図書館・こども絵本の森にある図書検索機の内1台が、セルフ貸出機としても使えるようになりました。カウンターの混雑に左右されずに、ご自身で貸出処理を行うことができます。画面の指示に従えば簡単に操作できます。ぜひお気軽にご利用ください。

※返却期限を過ぎた未返却の資料がある場合は、セルフ貸出機を利用できません。

※セルフ貸出機では貸出できない資料があります。左記の資料を貸出した場合は、カウンターにお越しください。

- ・CD・DVD等の視聴覚資料
- ・付録がついた資料
- ・予約していた資料



弘前図書館のセルフ貸出機 兼 図書検索機

マイナンバーカードを図書館カードとして使用できるようになりました!

マイナンバーカードを図書館カードと紐づけることで、「図書館カード」の代わりとしてご利用いただけるようになりました。これにより、マイナンバーカードを普段持ち歩いている方は、図書館カードを追加で持つ必要がなくなります。利用するには事前登録が必要です。ご希望の方はカウンターにお越しください。また、後から紐づけを解除することもできます。

※申し込みの際は4桁の暗証番号が必要です。顔認証はできません。

※マイナンバーカードでセルフ貸出機を使用する際は暗証番号が必要です(カウンターでの貸出では必要ありません)。



新規利用者登録を一部インターネット上でできます!

来館して申込用紙に記入してから行っていた利用者登録が、これからはご自宅などで、時間があるときにインターネット上で必要事項の入力を済ませることができます。この時点では「仮登録」の状態ですので、入力後は来館して本人確認書類の提示を行ったら本登録完了です。図書館で申込用紙に記入する時間を省くことができますので、まだ図書館カードを作ったことのない方は、ぜひこちらで入力してみてください!

【ネット上での新規利用者登録方法】

- ① 弘前市立図書館ホームページにアクセス。または次ページ下部にあるQRコードを読み込む(その場合は②を飛ばして③へ)。
- ② ホームページ内の「本を探す」または「ログイン」をクリック。
- ③ 「サブメニュー」を開き、「仮利用者登録」をクリック。
- ④ 必要事項を入力し、「確認」をクリック。
- ⑤ 間違いがなければ登録を完了する。
- ⑥ 弘前市立図書館へ来館し、本人確認書類を提示する。



My 本棚

「My 本棚」が追加されました。機能は以下の3種類です。

- ・「読みたい本」…読みたい本を登録できます。
- ・「読んだ本」…読み終わった本を登録できます。
- ・「借りた本」…弘前市立図書館で借りた本の履歴を残すことができます（設定をした時点以降の履歴が保存されます）。

読書マラソン

事前に利用者ご自身で「今月〇冊読むぞ!」といった目標を設定することで、読んだ本の冊数をカウントし、グラフや絵で表示します。



インターネットサービスも 新機能続々!!

利用者バーコードの表示

ログインしてご自分の図書館カードのバーコードを表示できるようになりました。スマートフォンで表示すれば、図書館カードとしてご利用いただけます。※スクリーンショットではご利用いただけません。必ずログインして表示してください。



利用者ポータルサイトへのログインについて

上記のサービスをご利用になるためには、利用者ポータルサイトにログインする必要があります。これまでインターネットサービスをご利用の方と、初めて利用される方でログイン方法が異なりますので、下記をご参照ください。ログインに必要な利用者番号は、図書館カードのバーコードの下に印字された数字8桁となります。ハイフン(-)は不要です（例：1234567-8の場合、「12345678」と入力）。

◆ 2025年9月9日以前にパスワード登録をしていた方

以前のログインパスワードがリセットされて、生年月日8桁（例：1990年10月10日生まれの場合→19901010）が仮パスワードとして設定されています。仮パスワードでログイン後、新しいパスワードに変更してください。

◆ 2025年10月1日以降、新規にご利用の方

右のQRコードにアクセスし、新規パスワード登録を行ってください。

登録方法：QRコードにアクセス→「利用照会」→「新規パスワード登録」



利用者ポータルサイトへのログインはこちら⇒



図書館スタッフが
おすすめする

BOOK REVIEW この本が面白い!

『君はどう生きるか』

鴻上尚史/著
講談社
2024年刊

これまで10代に向けて数々のメッセージを発信してきた著者が、その決定版としてまとめたのが本書です。吉野源三郎の『君たちはどう生きるか』が出版されて約90年。「協調性」から「多様性」の時代へと移りつつある今、「君たち」ではなく、「君」へ、「どう生きるか」問いかけ、「君」が自分自身で幸せを探せるようになるための具体的なアドバイスをしてくれます。大人が読んでも考えさせられることがたくさんありますよ。

『日本ご当地おやつ大全 地元ではおなじみ! みんな大好きな味』

日本懐かし大全シリーズ編集部/編
辰巳出版
2023年刊

皆さんは、おやつが好きですか。私は大好きです。この本には最近流行りのというよりは、昔から食べられていて、どこか懐かしいおやつが載っています。最近ではスーパーや催事会で地方のおやつを見かけるようになり、地元民のみが知る味が、全国で楽しめるようになり嬉しい限りです。しかし、まだ全国的には知られていないローカルおやつが沢山あります。歴史あるおやつもパッケージがリニユアルされ、気づかずに食べているものもあるようです。

『頭のうちどころが悪かった熊の話』

安東みきえ/著
下和田サチヨ/絵
理論社
2007年刊

タイトルと装丁が目を惹く、動物寓話。児童書で短編集になっており、読みやすいです。1つ目のおはなしはタイトルにもある、頭のうちどころが悪く、記憶喪失になった熊のおはなし。レイベアという、熊にとって大切な存在だったであろう相手を探し歩き、少しずつ記憶を取り戻していきます。熊はどうして頭を打ってしまったのでしょうか? どのおはなしも不思議な世界観で考えさせられる、手元に置いておきたいお気に入りの1冊です。

『日本の絶景パレット 100色をめぐる旅』

永岡書店編集部/編著
永岡書店
2025年刊

四季の移ろいや時の流れの中でさまざまな表情をかえる、日本の風景。この本は、そんな美しい景色を百色の和の色とともに紹介する一冊です。天色、深緋、青柳——古式豊かな日本の伝統色に重ねられた絶景は、まるで心を彩るパレットのよう。青森県からいくつかの風景が掲載されており、弘前からはこちら「花筏」が選ばれていますが、添えられた色名は少し意外かもしれません。ぜひ、ペー지를めくって確かめてみてください。

『父のコートと母の杖』

一田憲子/著
主婦と生活社
2024年刊

母の入院をきっかけに、両親の老いに直面した著者。いばりん坊な父とおとなしい専業主婦の母は、子どもに対してちゃんと冷めた親だった。かつてはそんな両親に幻滅し疎遠になったりもしたが、いざ老いた両親を目の当たりにすると、寂しく、苦しく、その現実を受け入れ難かった。結婚や社会経験を経て、還暦を迎えた今、人生は年齢に関係なく初めての連続だと気づく。自分よりちょっと先を生きる両親を見つめた、愛に溢れたエッセイ。

『文房具の解剖図鑑』 増補改訂版

ヨシムラマリ、トヨオカアキヒコ/著
エクスナレッジ
2025年刊

皆さんが日常的に使っている、きつと学生時代に誰もが世話になったであろうあのペンやあのノートやあの鉛筆など…。そんな文房具たちの生い立ちや、なぜこんなに使いやすいのかを、豊富なイラストとともに解説しているのがこの本。メーカーへ直接訪問して聞いた製作秘話なども書かれています。日々進化する文房具。その進化は、メーカーの日々の試行錯誤によって生み出されているのだと、楽しく知ることが出来る1冊です。



令和7年度 第8回 弘前市立図書館を使った調べる学習コンクール

今年度は6作品が入選し、11月15日に弘前図書館で表彰式を開催しました。
たくさんのご応募をいただきありがとうございました。



入選者とコンクール主催者ら

〈入選者・入選作品〉

	作 品 名	氏 名	学校名・学年
最優秀賞	走れるってうれしい！たのしい！ ～ケガを乗り越えてまた一歩ずつ前に進む～	やまざき いちほ 山崎 壱歩	弘前市立岩木小学校 6 学年
優秀賞	可能性はむげん大!? 災害時の救世主になれるのか…フルグラチャレンジ	ちば えにし 千葉 縁志	弘前市立大成小学校 4 学年
優良賞	ぼくのサーモン大百科	かわさき こうわ 川崎 煌和	弘前市立時敏小学校 2 学年
佳 作	わたしのおしゃれなランドセル	ちば ことな 千葉 寿絆	弘前市立大成小学校 1 学年
佳 作	かわいいかわいい赤ちゃんのひみつ	やまざき ちえい 山崎 智瑛	弘前市立岩木小学校 3 学年
青森りんご 植栽150周年 記念特別賞	はっけん！ひいじいちゃんとりんご	しちのへ はる 七戸 覇瑠	弘前大学教育学部附属 小学校 1 学年

👑 最優秀賞 👑



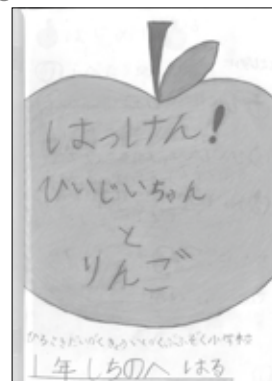
👑 優秀賞 👑



👑 優良賞 👑



🍏 青森りんご植栽150周年 記念特別賞 🍏



👑 佳 作 👑



👑 佳 作 👑



入賞おめでとうございます！

入賞作品は、弘前図書館のロビー展（12月中旬から1か月程度）や、調べコン常設展示コーナーにて展示予定です。ぜひご覧ください。



お知らせ・図書館イベント等の情報 12月～2月

※都合により、変更になる場合がございます。

開催館・日時	イベント名	内容等
弘前図書館 12月14日(日) 13時30分～15時	大人のための図書館見学	【対象】高校生以上 【定員】20名(先着順) 【申込】11月15日(土)9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話にて受付 ※定員に達したため受付終了しました。
弘前図書館 12月20日(土) 14時～14時40分	クリスマスおはなし会	【語り手】おはなしるんるんの皆さん 【対象】幼児から小学生 【定員】30名(先着順) 【申込】11月21日(金)9時30分から弘前図書館カウンターまたは電話にて受付 ※定員に達している場合はご了承ください。
弘前図書館 2月8日(日) 10時45分～12時	ぬいぐるみのおとまり会 in弘前図書館	【対象】幼児(3歳以上)から小学生 【定員】10名(応募者多数の場合は抽選) 【申込】1月17日(土)9時30分から1月24日(土)17時まで弘前図書館カウンターまたは電話にて受付
岩木図書館 12月13日(土) 10時30分～11時15分	おはなしクリスマス会	【対象】どなたでも 【定員】20名程度(先着順) 【申込】11月8日(土)9時30分から岩木図書館カウンターまたは電話で受付
岩木図書館 1月24日(土) 10時30分～11時	ぬいぐるみのおとまり会 in岩木図書館	【対象】幼児から小学生 【定員】5名(先着順) 【申込】1月10日(土)9時30分から岩木図書館カウンターまたは電話で受付
岩木図書館 2月21日(土)10時～11時30分	読み聞かせ ボランティア講習会	【対象】読み聞かせに興味のある方 【講師】テラーズの齋藤真琴さん、工藤光子さん 【定員】10名(先着順) 【申込】2月1日(日)9時30分から岩木図書館カウンターまたは電話で受付
こども絵本の森 12月19日(金)～1月14日(水)	冬休みおはなしクイズラリー	【対象】小学生以下・申込不要
こども絵本の森 2月22日(日)10時から整理券配布 ※雑誌が無くなり次第終了	雑誌の無料配布	【対象】どなたでも 【内容】雑誌は1人3冊、付録は1人1点まで。 ※持ち帰り用の袋をご持参ください。
相馬ライブラリー 12月18日(木)～1月20日(火)	冬休み特別企画 本を借りてビンゴ!	【対象】相馬ライブラリーで本を借りてくれた方 どなたでも 【申込】不要

弘前図書館・岩木図書館・相馬ライブラリー 年末年始休館のお知らせ

12月29日(月)から1月3日(土)までの6日間、弘前図書館、岩木図書館、相馬ライブラリー、移動図書館車は年末年始の休館となります。また、こども絵本の森は下記の通りの開館予定となっています。

こども絵本の森 開館日程

12月31日(水) 10:00～15:00

1月1日(木) 休館(ヒロロ全館休館のため)

その他の日は通常開館(10:00～18:00)となります。

弘前図書館
開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎月第3木曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 32-3794

岩木図書館
開館時間
平日 9:30～19:00
土日祝 9:30～17:00
休館日…毎週月曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 82-1651

こども絵本の森
開館時間
10:00～18:00
休館日…毎月第3木曜日
蔵書点検期間
電話 35-0155

相馬ライブラリー
開館時間
9:30～17:00
休館日…毎週水曜日
年末年始
蔵書点検期間
電話 84-2316

発行: 指定管理者 TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体

